

5月15日(水)に、NPO法人小網代野外活動調整会議より、市内の全小学校に、ハマカンゾウの苗が贈呈されました。

6株ずつの苗が送られ、各学校で育てて、種が取れたら、小網代の森に返しに行くことになっているそうです。



同じく15日(水)、初声小学校の4年生が、一番川上流で、オタマジャクシを放流しました。

このオタマジャクシは、油壺マリンパークが、もともと初声小の周りにたくさん生息していたニホンアカガエルを、代々育ててきたものです。

マリンパークの方のお話のあと、子どもたちが次々に、放流していきます。今回は、マリンパークからのものと、児童が教室で育てていたものと、併せて2000匹を放流しました。

来年、昔のように、たくさんのニホンアカガエルが育ってくれればと思います。



5月22日(水)、旭小学校の海洋教育の様子取材に行きました。

現4年生が3年生の時に取り組んだ「旭水族館」が完成していました。これは、海の生き物をモチーフにした紙版画を、クラス全員分掲示したものです。一昨年度から始めて、2年目の取組になります。

うろこを表すために、緩衝材のプチプチを利用するなどの工夫もされていました。

クラス全員で取り組んで、全員の作品で完成した「旭水族館」。三浦市が進めてきた海洋教育の成果ととらえています。

職員玄関では、スカシカシパンとハコフグがお出迎えしてくれました。(右の写真)



お願い 本研究所では、海洋教育写真コンテストを実施するためのクラウドファンディング(インターネット上での募金)を行っています。このコンテストを実施するために、みなさんのご協力が必要です。3000円から参加できます。



リターン(お礼の品物)もあります。ご協力いただける方は、本研究所(854-9443)にご連絡ください。すぐに対応いたします。クラウドファンディングの内容を知りたい方は、右のQRコード、もしくは次のURL(<https://readyfor.jp/projects/umishakon31>)からアクセスできます。

(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで